

## 平成 22 年度事業報告

◎ 平成 22 年 6 月 1 日移行登記完了、公益財団法人日本文化藝術財団として活動開始

### 公益目的事業1(「創造する伝統賞」の主催)

(定款第 4 条第 1 項第 2 項)

#### ■ 助成顕彰事業 (第 17 回)

平成 23 年 1 月 23 日の理事会の審議を経て 3 名に授与した。

「第 2 回創造する伝統賞」 賞金各 100 万円

- 庄治 達氏 (71 歳) 造形作家
- 一噌 幸弘 (46 歳) 能楽一噌流笛方
- 島袋 道浩 (41 歳) 現代美術作家

#### (1) 対象

日本の伝統文化及び現代藝術の広い分野を対象とする。国籍不問。

#### (2) 募集応募概況

発送先：美術館、博物館、新聞社、大学、大使館、海外日本文化研究機関、画廊  
出版社（専門誌）、評論家、本財団「文化藝術の会」会員、本財団関係  
者、これまでの受賞関係者、資料請求者 発送数：1,150 件

告知：当財団ホームページ、邦楽ジャーナル

応募総数：一般公募 25 名、推薦応募 6 名

#### (3) 選考委員会

開催日時：平成 23 年 1 月 14 日(月) 15:30～18:00

開催場所：公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出席者：石井和紘委員、葛西聖司委員、金子賢治委員、建畠哲委員、茂手木潔子委員

事務局：寺脇研事務局長、北村誠代表理事 事務局員

選考方法：事前に選考委員に応募者の資料を送付し、閲覧を依頼

選考委員会当日は、応募者から提出された資料(DVD、CD、ポートフォリオ、論文、カタログ、パンフレット、著書、掲載誌等)を視聴及び回覧し、各委員より意見を出し、選出候補者を絞り込み、審議の後多数決により出席委員全員の同意のもと、授与候補者 3 名を選出した。

#### (4) 理事会の決議

平成 23 年 1 月 23 日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された 3 名に「創造する伝統賞」授与を決議した。

「創造する伝統賞」授与者 賞金 各 100 万円

- 庄治 達氏 (71 歳) 造形作家
- 一噌 幸弘 (46 歳) 能楽一噌流笛方
- 島袋 道浩 (41 歳) 現代美術作家

#### (5) 公表・授与

授賞者決定後に、授賞者及び授賞事由をニュースリリースとして関係各所に送付、ホームページにて公表した。授賞式・懇親会は「東日本大震災」の被害を鑑み急遽取り止め、次年度の 4 月 7 日に授与式のみを実施し、その後賞金を本人口座に振り込むこ

とにした。「創造する伝統賞」授賞者を紹介した冊子を作成し、美術館、団体等に配付することとした。

## 公益目的事業2(芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付)

(定款 第4条 第3項)

### ■育英事業 (第15回)

平成22年4月5日に、平成22年度育英事業の募集を行い、平成22年6月1日の公益財団法人移行登記完了日に選考委員会を開催。平成22年6月22日の理事会の審議を経て、4名に奨学金を給付した。

奨学金給付大学生2名 奨学金 各30万円

○多摩美術大学 美術学部 絵画学科 4年

○東京藝術大学 美術学部 絵画学科 4年

奨学金給付大学院生2名 奨学金 各50万円

○東北芸術工科大学大学院 芸術工学研究科芸術文化専攻修士課程1年

○金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科美術工芸専攻博士後期課程1年

#### (1) 対象者

国内の芸術系大学の3回生・4回生または大学院に在学し、絵画・彫刻・工芸・建築(造園を含む)・デザイン(グラフィックデザイン及び工業デザインのみ)の実技部門を専門としている学生

#### (2) 募集概況

募集 : 大学生 2名 奨学金 1年間30万円の給付

大学院生 2名 奨学金 1年間50万円の給付

募集期間 : 平成22年5月6日～平成22年5月14日

申請書類 : ①奨学生願書 ②当学科専任教官より推薦書 ③成績証明書

応募状況 : 大学生 30名

大学院生 71名 (修士63名、博士8名)

---

合計 101名 (+4)

#### 応募状況

- ・留学生の応募者が約半数に減った。
- ・新規応募の大学が2校であった。
- ・大学院生の応募者が大学生の倍以上となり、応募者数の差が広がっている。

#### その他(改善事項等)

大学の名称変更・統合/学部名称変更などを踏まえ、案内送付先を見直し、57校に募集資料を送付した。

#### (3) 選考委員会

開催日時:平成22年6月1日(月) 13:30～15:30

開催場所:公益財団法人日本文化芸術財団 会議室

出席者:久谷政樹委員長、井上隆邦委員、野呂英美子委員、宮本武典委員

欠席者:徳山豊委員(選考意見書類提出)

事務局:寺脇事務局長、事務局員

○選考資料 ・応募書類一式

- ・学校別応募人数
- ・学校別応募人数の変化(17-22年度)
- ・学校別これまでの受給者
- ・受給者名簿
- ・送付先大学一覧
- ・応募者一覧

○選考方法

【大学生】事前審査により候補者を数名ずつ選出し、本審査にて各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げた上で、再び審査を行い、最終投票により過半数を超えた上位2名を候補者として選出した。

【大学院生】事前審査により候補者を数名ずつ選出し、本審査にて各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げた上で、再び審査を行い、投票により過半数を超えた1名をまず選出した。再度審査の上、絞られた1名と、計2名を候補者として選出した。

○選考結果

- |             |         |              |    |
|-------------|---------|--------------|----|
| 多摩美術大学      | 美術学部    | 絵画学科         | 4年 |
|             | 吉永 蛍    | (21歳)        |    |
| 東京藝術大学      | 美術学部    | 絵画学科         | 4年 |
|             | 蔭山 忠臣   | (24歳)        |    |
| 東北芸術工科大学大学院 | 芸術工学研究科 | 芸術文化専攻修士課程   | 1年 |
|             | 菊池 咲    | (23歳)        |    |
| 金沢美術工芸大学大学院 | 美術工芸研究科 | 美術工芸専攻博士後期課程 | 1年 |
|             | 船曳 朋子   | (24歳)        |    |

(4) 理事会の決議

平成22年6月22日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された4名に奨学金授与を決議した。

(5) 奨学金給付

- |          |                            |
|----------|----------------------------|
| 平成22年6月  | 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付 |
| 平成22年10月 | 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付 |

公益目的事業3(自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、及び実施事業の記録)

(定款第4条第4項第5項第6項)

■文化芸術普及活動事業

◆「創造する伝統 杜の中の文化祭」

○「創造する伝統 杜の中の文化祭 親子で“日本の匠の技”を体験」

開催日:平成22年9月26日(日) 10:00~17:00

会場:明治神宮内 参集殿

主催:公益財団法人日本文化芸術財団

助成:全日本社会貢献団体機構

特別協力:明治神宮

後援:京都造形芸術大学、東北芸術工科大学、グレーター東京フェスティバル

協力:東京伝統木版画工芸共同組合、NPO法人日本剪画協会、NPO法人響

来場者：約 1,000 名

入場料：無料（ただし風鈴絵付けとあめ細工は実費徴収）

内 容：

- ・「こどもの杜」～日本の伝統を経験しよう～  
あめ細工、江戸風鈴の絵付け、江戸木版画の摺りの実演と体験、江戸糸操り人形公演、日本のお茶を楽しんでみよう、遊びの広場、杜の体験、杜の手作り広場、杜の宝物
- ・「体験の杜」  
剪画(切り絵)でミニランプシェードを創ってみよう  
お琴にさわってみよう
- ・「杜の音楽会」  
琴演奏 演奏:吉村七重箏研究所研究員 2 名
- ・「杜の映画館」  
会場を一時暗くしてチェブラーシカを上映

○「創造する伝統 杜の中の文化祭 茶論・四季おりおり」第 5 回「歌心 都」

開催日:平成 23 年 3 月 24 日(日) 13:00～15:00

会 場:駒場公園 旧前田侯爵邸和館

主 催:公益財団法人日本文化藝術財団

助 成:全日本社会貢献団体機構

後 援:京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

内 容:聞香、歌(和歌)について、呈茶

講 師:聞香箏門会宗匠 伊達晟聴氏

参加者：20 名

参加費：無料

○ブログ「四季おりおり-よりよく生きる心を求めて-“生きる作法”」

期 間:平成 22 年 1 月 1 日より平成 22 年 12 月 15 日

更 新:毎月 2 回(1 日、15 日) 全 24 回更新

テーマ:四季・歴史・文化を通して「よりよく生きる心」を探求 文章 伊達晟聴

アクセス数:11,996 件

URL : <http://blog.canpan.info/shikioriori>

◆ 地域の伝統文化団体への一流演奏家派遣指導の実施

主 催:公益財団法人日本文化藝術財団

助 成:日本財団

派遣先:福島県福島市、福島県いわき市、和歌山県東牟婁郡

後 援:京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

内 容:地方の邦楽器、伝統芸能を勉強している倶楽部、団体、先生のもとに、本事業の趣旨に賛同してくださる一流邦楽演奏家が出張し指導等実施。

参加費:無料

実施内容

○ 指導 (1)

日時：平成 22 年 7 月 31 日、8 月 1 日

地域：福島県福島市

会場：福島県文化センター

講師：今藤長十郎氏（長唄三味線今藤流四世家元）、助手：今藤長由利  
対象：「伝統文化みらい広場（日本財団助成事業）」に出演する、三味線を習っている小・中学生 20人  
内容：発表会「伝統文化みらい広場」に出演する、小・中学生に、今藤長十郎氏が福島の名所・名産を紹介する歌「夢の里 福島」を長唄として作曲し「伝統文化みらい広場」に提供。その演奏を指導。

○ 指導 (2)

日時：平成22年10月16日、17日  
地域：福島県福島市  
会場：福島県文化センター  
講師：三味線 今藤長十郎氏（長唄三味線今藤流四世家元）、助手：今藤長由利  
舞台美術・運営：滝善光、制作：野口良太、音響説明：金森祥之  
対象：「伝統文化みらい広場（日本財団助成事業）」に出演する児童ならびに来場者、音響については、福島県福島西高等学校の放送倶楽部の生徒  
内容：「伝統文化みらい広場」の舞台公演に協力  
発表会「伝統文化みらい広場」に三味線演奏で出演する小・中学生に、演奏曲「夢の里 福島」を今藤長十郎氏がリハーサル、本番と指導。  
この公演で、プロの邦楽演奏家が子供たちと共演。  
また、舞台の美術、段取りを舞台美術・監督の滝氏が指導。  
音響は音響専門家の金森氏が、福島西高等学校の学生に現場で説明。  
さらに、今藤長十郎氏他一流の邦楽演奏家9名が、多摩川、吉原雀を演奏。

○ 指導 (3)

日時：平成23年2月4日、5日  
地域：福島県福島市  
会場：2月4日福島県文化センター、2月5日福島市アクティブシニアセンター  
講師：今藤長十郎氏（長唄三味線今藤流四世家元）  
対象：「伝統文化みらい広場（日本財団助成事業）」に出演した三味線を習っている小・中学生（岡部さちえ三味線教室の生徒）  
内容：長唄「越後獅子」の指導

○ 指導 (4)

日時：平成23年2月11日、26日  
地域：福島県いわき市  
会場：いわき市豊間中学校  
講師：吉村七重氏（十三弦箏、二十弦箏 奏者）助手：田村法子  
対象：福島県いわき市豊間中学校箏曲部員  
内容：箏独奏曲及び二重奏曲の実演を取り入れた演奏技術修練

○ 指導 (5)

日時：平成23年2月15日  
地域：和歌山県東牟婁郡  
会場：東牟婁郡古座川町立明神中学校  
講師：吉村七重氏（十三弦箏、二十弦箏 奏者）助手：田村法子

対象：和歌山県牟婁郡小・中学校の音楽教諭

内容：一流演奏家による中学生への邦楽・箏の指導方法の提示

○ 指導 (6)

日時：平成 23 年 2 月 16 日

地域：和歌山県東牟婁郡

会場：東牟婁郡古座川町役場

講師：吉村七重氏（十三弦箏、二十弦箏 奏者）助手：田村法子

対象：和歌山県牟婁郡串本町 佐藤好見箏三弦教室生徒

内容：箏独奏曲及び二重奏曲の実演を取り入れた演奏技術修練

◎指導 (7) 実施を予定していたが、東日本大震災のため中止になった企画

日時：平成 23 年 3 月 26 日（指導）、27 日（発表会）

地域：福島県福島市

講師：今藤長十郎氏（長唄三味線今藤流四世家元）

助手：今藤由利、堅田新十郎、藤舎推峰

対象：「伝統文化みらい広場（日本財団助成事業）」に出演した、三味線を習っている小・中学生（岡部さちえ三味線教室の生徒）

内容：長唄「越後獅子」の指導・プロの笛、太鼓奏者との発表会

◆ その他

○ これまで実施した「音楽のきずな」「川口塾」の整理と、集大成の検討

○ ホームページでの告知、情報公開

○ 明治神宮鎮座 90 年記念 狂言公演(平成 22 年 11 月 1 日)

○ 日独交流 150 周年記念事業 「今藤長十郎長唄三味線ベルリン公演」

平成 22 年度文化庁国際交流支援事業

開催日：平成 23 年 3 月 11 日(公演) 12 日(ワークショップ)

○ GTF グリーンチャレンジのつどい

開催日：平成 22 年 8 月 28 日、29 日 10:00～17:00

○ 調布キャンドルナイト(平成 22 年 12 月実施)

開催日：平成 22 年 12 月 18 日(土)～26 日(日)20:00～22:00